

第33回 船橋市地域公共交通活性化協議会 会議録

日 時：平成29年 2月16日（木）

15：00～16：00

場 所：船橋市役所9階 第1会議室

出席者：別添名簿参照

事務局	事務局連絡
	1. 開 会
	2. 議事及び報告
議 長	それでは、議事の1つめと致しまして、「平成28年度公共交通不便地域解消事業の実施状況について」、事務局からご説明願います。
事務局	<事務局より説明>【資料1】
議 長	はい、それでは、何かご質問ご意見、ございますでしょうか。
委 員	はい、議長。
議 長	はい、どうぞ。
委 員	田喜野井・三山地区の吉田でございます。いつも、お世話になってありがとうございます。 前からなのですが、平成27年の2月12日に、小型バスでの運行に向けた形での考え方ということで、一応私たちも一緒に同乗させて頂いて、試走等色々検討されているというふうに、存じ上げているのですが、その後の状況が、ハッキリした形で、ご返事等を頂いてないのです。できたら、そのあたりのところが分かるのであれば、ある程度、三山・田喜野井の地区の皆さんにも話したいなという様にも思っておりますので、是非ご回答願いたいと思います。以上です。
議 長	はい、では事務局から回答をお願いします。
事務局	はい。田喜野井のマイクロバスでの運行、もしくは、以前から行っている小型バスでの運行を、現地で小型バスを運行しながら模索していた所なのですが、やはり、現地の道路の状態はかなり狭い区間もありますことから、小型バスでの運行がすれ違い等に支障が生じるということで、なかなか運行が出来ないという状況にございます。 これについて何かしらの改善点ということで、市もあわせて検討しているのです

	<p>が、部分的な改良としまして、待避所を確保するという対策をしていきたいと思っております。ただ、その待避所が確保されたとしても、その道路の狭い区間というのが長い区間でございまして、なかなか解消が難しいということがございます。その解消が図れるかどうかを、今度整備した後に、現地の状態をまたバス会社さん、警察さんと合同で検討してもらって、その後可能性を検討していきたいと思っております。以上でございます。</p>
委員	議長。
議長	はい、それでは吉田委員。
委員	はい、分かりました。だいたい様子が分ったのですけれども、ということは、逆に言うと目途が今のところはなかなか立たないというふうに解釈すればよろしいですか。
議長	事務局お願いします。
事務局	はい、今のところその区間が長いということがあるので、なかなか目途が立ちにくいということがあり、乗り残し対策としても、今のなかで協力して頂くということだと、乗りやすい時間帯にまず、乗客が行って頂けるような広報活動をするくらいということになっています。
委員	はい、議長。
議長	はい。
委員	分かりました、だいたい掴めましたので。以上です。
議長	他に、ご質問は、あるいはご意見。 清水委員。
委員	<p>北部の代表であります、清水でございます。</p> <p>既に、実施している八木が谷と3コースにつきましては、このような表が出ているわけですが、今試運転がようやく6ヶ月経過して、当初予定していたものに対しての度合いと申しますか、そのあたりどうなのか。それとまた、まだ半年ですので、やはり春夏秋冬を経過しないと、利用状況というのはなかなか掴みにくいと思いますが、今の、数を仰いましたが、80数人というようなことですが、こんなふうになるだろうという見通しを、聞かせて頂けませんでしょうか。</p>
議長	本件につきましては、この後「平成29年度公共交通不便地域解消事業について」

	<p>という中で二和地区の説明がございますので、その中でまとめてということによろしいでしょうか？</p>
委員	<p>はい。</p>
議長	<p>よろしいですか。</p> <p>他に、ご意見あるいはご質問、この後二和地区の話になるので、特にそれ以外のところでございますでしょうか。</p> <p>はい、それでは、会沢委員お願いします。</p>
委員	<p>京成バスの会沢です。</p> <p>先程の吉田委員の質問に関連するのですが、私ども田喜野井の運行を担当させて頂いてる事業者でございます、事業者の立場といたしましても、できるだけ早く小型バス化を実現して、乗り残しをなくしたいと、こういう意向でございます。</p> <p>ただし、現状のままで、バスに変えることは充分難しいことと承知申しております。先程、待避所をまず第一段階として整備して頂くような話がありまして、その後でまた改めてということになるのですが、事業者としても、例えば後退に備えて、バックのカメラをバスに付けるとか、できるだけ安全対策をとりまして、実現に向けて努力していきたいと考えておりますので、宜しくお願いします。以上です。</p>
議長	<p>はい、他に。</p> <p>吉田委員どうぞ。</p>
委員	<p>どうも、ありがとうございました。もっと具体的に話が出たので、非常に私としてはありがたく思います。是非、我々も要望している点もございますので、小型バス、なるべく早くお願いできればと思います。以上です。</p>
議長	<p>他に、ご質問ご意見等ございますでしょうか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは、議事を進めたいと思います。2つめといたしまして「平成29年度公共交通不便地域解消事業について」、事務局からのご説明を願います。</p>
事務局	<p><事務局より説明>【資料2】</p>
議長	<p>それでは、50%の目標に対して19.8%であったということから、事務局として改善案を示したところでございます。本件につきまして、各委員のご質問ご意見等、ございますでしょうか。</p> <p>清水委員としては、今の説明で、先程の疑問に対する答えになっているでしょうか、あるいはもう少し説明を求めたいというところでしょうか。</p>

委員	いいですか。
議長	はい。
委員	<p>今19.8%ですよね、一応、前々から仰っているように、せめて50%以上は確保したいということでこの事業をやっているわけですよね、それに対して19%、20%に達していないのだけど、そういう状態であるという事に対して、2年、3年と続ける間には、ある程度50%近くまで行くような見通しがあるものかどうか。</p> <p>それと、私も近くで時々ここを通るのですが、案外シルバーのお客さんは乗ってないみたいな感じもしました。そしてまた、競馬場から来ている通称木下街道は非常に混むのですよね、ましてやこの交差点の付近は、バスに乗るよりも自転車である所まで行って、そこで路線バスに乗った方が良いという方もいるかと思いますが、そのあたり先の見通しが、50%近くに行けそうか、いや無理なのかというような、多少事務局の方で、想定されているかどうか。</p>
議長	はい、事務局お願いします。
事務局	<p>はい、お答えいたします。</p> <p>50%の目途が立っているかどうかというところだと思うのですが、まず、潜在的に利用者の増加という意味で、先程の木下街道に、馬込沢駅入口というバス停があるのですが、ここは歩道がかなり狭くて、バスを待とうとすると、目の前を大型車が通ったりして、待てる時に怖い等、凄く不安なところがあるかと思うのです。今の利用者の状況を見ても、「行き」と「帰り」で、「行き」は駅にすぐ行けるのですが、今度「帰り」はその木下街道沿いで待たなければならず、恐らく歩いて行っちゃうだの、お迎えが来るだのという状態になっており、「行き」に比べて「帰り」の方が45%くらい利用者が減ってきている状態があります。そこで、駅の西側にロータリーがあってという所で、ここにバス停を一つ多くし乗り降りができれば、乗客の利用が増えるだろうという事を想定しています。</p> <p>あと、グリーンハイツ内にバス停を新設する事によって、目の前にバス停があるということでかなり利用がしやすくなります。今は一個のバス停しか無いのですが、それがプラス3か所増え、全部で4か所になることで小刻みに乗れるという所があるので、ここでも増えてくるかなと思っております。</p> <p>あと、地元の方の努力といたしまして、このバスに乗ろうというPRを以前からもやって頂いており、月の中でも1日と20日にいっぱい乗ろうよとか、本格運行になるにはどれだけの人数が乗らなければならないかというふうな事も、地元でPRして頂いておりますので、このPRの状態を、地元の協力を得ながら底上げしてくれば、ある程度の需要回復と言いますか、収支率が上がってくると考えております。あと、バス事業者としても、ある程度運行開始から一年くらいは運行しないと状況が掴めないということがございます。</p> <p>バス導入編という枠組みで今3地区やっているのですが、その枠組みの中だ</p>

	<p>と、(試験運行開始からの6ヶ月間に運行経費の5%を収入等により確保できない場合でも)改善により50%を確保できる見込みが立てば、6ヶ月様子をもう一回見ましょうという事になってますので、このあたりを取り入れまして、ここで50%確保に向けて動いていきたいと思っております。以上でございます。</p>
議長	<p>はい、では清水委員。</p>
委員	<p>少ししつこいようですみません。いま一つは、バス停の改定と申しますか、その話が出たわけですが、私もあそこを通っていて、歩道といってもU字溝の上を歩いているのねあそこは。</p> <p>また、バス停というのは、最近は贅沢なもので、豊富付近のように歩道の幅員があると屋根があつたりしますよね。あれ3m以上でないと多分屋根はつけられないと思います。何か基準があると思う。そのほか、お年寄りですからバスが来る間、1分でも2分でも椅子に少し腰を下ろしたいっていう方も居るのですが、どの程度の、面積的にも建物のといいますか、屋根が付くものかどうかそのあたり少し教えて頂けますか。</p>
議長	<p>事務局いいですか、お願いします。</p>
事務局	<p>利用の方の利便という意味で、バス停に上屋ということだと思っておりますけども、歩道というのは本来歩行者が通るといなかで、2mの有効幅員は確保しようということで、原則として2m以上のある程度の歩道があれば、上屋というものが設置できてくるかと思っております。</p>
委員	<p>はい、分かりました。</p>
議長	<p>では他の委員、何か質問、意見、ございますでしょうか。 会沢委員、お願いします。</p>
委員	<p>度々すみません、京成バスの会沢です。まず、質問なのですが、1日平均利用者85.9人というデータが出てるのですが、これ平日と土・休日で差があるのかどうかをお尋ねしたいのですが。</p>
議長	<p>はい、事務局データを示してください。</p>
事務局	<p>1日の利用が、平日ですと約87人位のデータが出ておりまして、休日だと79人位のデータが出ております。やはり、休日だと下がってくる傾向にはございます。以上でございます。</p>
委員	<p>分かりました。今聞いて、私としては意外だったのは、土・休日の落ち幅が既存の3路線と比べて少ないなというふうな感想を持ちました。これを踏まえまして、</p>

	意見として言おうと思っていたのが、1日と20日のバス利用促進デーですが、一般的に、平日と比べて土・休日の人数が減りますので、何日という決め方ですと、土・休日であたってしまう場合もあろうかと思ひまして、曜日で決めた方がいいのではないかと少し思つたのです。できれば平日の。これは意見です、すみません。
議 長	事務局何かありますか。
事務局	一応ですね、たしかに休日は他の所よりも落ち幅は多分狭い、縮まっているのだと思います。地元の方も、バスに積極的に乗ろうということを一先懸命やっています。あわせて、1日、20日というところについては今後地元のみなさんとも検討してですね、曜日で行った方がよさそうであれば、その方向で考えていければと思ひしております。以上でございます。
議 長	それでは、ほかに。
委 員	もう幾つかいい。
議 長	はい、清水委員お願いします。
委 員	はい、すみません。ほかの今までの質問とは、少し別の方向から伺いたいと思ひますが、八木が谷をやる時に、当初50%をようやくくらいたったのね。今は62.8%まで上がっているのですが、これは地元の方の利用しようという声掛けが多少効いたかなと思ひまして。 私も4年ほど前、八木が谷のある自治会の集会場で利用についての促進活動としてPRを行ったことがあるのですが、多少上がっては来ても、どうしても丸山地区みたいに100%越えは見込めない感じがするわけね。 利用者の人数だけではなくて、今やってる二和を含めて4か所の路線周辺の人口を、だいたい大ざっぱに今分かりますか？
議 長	事務局分かりますか。 今答えられないようであれば、また改めてということになりますけど、手元にありそうですか？
委 員	多分丸山はすごく多いと思ひますよ、元々の人口がね。
事務局	すみません、事務局です。
議 長	どうぞ。
委 員	今その人数を手元には持ってきてないのですが、たしか集計したものがあつたか

	<p>と思うので、その比較は、およその人数にはなると思うのですが、できるかと思 います。</p>
議 長	<p>では、今は難しいようですので、そういった事を背景に、今後とも検討していく というような形でよろしいですか？</p>
事務局	<p>申し訳ございませんが、手元には無いので、数字については言えないのですけれ ども、今後、人数等の参考にしながら、考えていきたいと思っております。</p>
委 員	<p>はい。</p>
議 長	<p>よろしいですか。 他に、ご質問ご意見等ございますでしょうか。</p> <p>特にそれ以上意見、質問が無いということであれば、平成29年度の公共交通不 便地域解消事業について、二和グリーンハイツ線の運行の継続については、ただ今 ご説明いたしました内容で進めたいと思っておりますけれども、ご異議ございませ んでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>よろしいですか、ではありがとうございました。 それでは、二和グリーンハイツ線の試験運行につきましては、改善点の供用から 半年間を目途に、この運行を継続することを致したいと思っております。</p> <p>それでは、3つめとして「平成29年度船橋市地域公共交通活性化協議会予算 (案)について」、事務局より説明願います。</p>
事務局	<p><事務局より説明></p>
議 長	<p>はい、ただ今の事務局からの説明について、何かご質問ご意見、ございますで しょうか。よろしいですか。 それでは、最後に今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><事務局より説明></p>
議 長	<p>はい、何かご質問ご意見、ございますでしょうか。 全体を通して何か、よろしいですか。</p>
事務局	<p>訂正がございます。</p>

議 長	はい、どうぞ。
事務局	<p>すみません、お手元の資料で訂正がございます。資料の1でございます。二和地区の試験運行の状況なのですが、平成28年の8月1日から平成29年の1月31日までの利用状況ということで、延べ利用者数が、13,145人となっているのですが、15,561人の間違いでして、一日平均が今85.9人となっているのですが、84.6人の間違いになっておりますのでこれの訂正をお願い致します。利用者人数が15,561人、一日平均が84.6人の状況となっておりますので、ご訂正宜しく申し上げます。申し訳ございません。</p>
議 長	<p>1月分が抜けてたということですかね。</p> <p>はい。では、訂正をさせていただきます。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>ほかに、質問ご意見等、ございませんでしょうか。</p> <p>無ければ、これで第33回船橋市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。</p> <p>皆様、本日はありがとうございました。</p>